TTC 提案山行実施記録表

2011年1月23日　報告者:坂本　達治

山行名	高指(たかさす)山、三国山　　[1174.1m、1320m・山梨県]
実施日	２０１１年１月２２日（土）　マイクロバス利用
天候／参加人員	天候:晴　　レベル:★☆　　参加人員:　20 名（男性9名/女性11名）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL:、 SL:、 会計／計画:、救護:、写真:、ﾄﾞﾗｲﾊﾞ:　　氏　名　削　除
参加メンバー	A 班　☆　　☆：班長 B 班　☆　　氏　名　削　除 C 班　☆ D 班　☆
費用 ￥4，100/人 TTC ｶﾝﾊﾟ金 ¥800	【収入の部】¥82,000[@4,100*20 名] 【支出の部】ﾏｲｸﾛﾊﾞｽﾚﾝﾀﾙ料(ｽﾀｯﾄﾚｽﾀｲﾔ仕様):¥46,000　燃料代:¥4,600[@115x(150+50)/5] ﾄﾞﾗｲﾊﾞ謝礼:¥18,000　入湯料:¥12,600　**費用合計:￥81,200　TTC ｶﾝﾊﾟ金:¥800**

歩行・行動時間

	歩行時間	休憩時間	行動時間
ガイドブック	4:00	—	—
計画	4:30	1:10	5:40
実行	4:00	1:42	5:42

実行コースタイム記録

◆8/28(土)

28'　27'　17'　14'

ヨーカドー前===道志_道の駅===山伏峠登山口……三叉路……休憩(高指山まで1.4km地点)……パラシマ峠……

6:13　7:42-50　8:03-18　8:46-57　9:24-35　9:52-10:00

26'　7'　51'　昼食　17'　25'　18'

……高指山……切通峠……(休憩)……鉄砲木ノ頭(ﾊﾟﾉﾗﾏ台)……三国峠……三国山……三国峠===石割の湯===厚木着

10:14-27　10:53　11:00-11:05　11:56-12:40　12:57-13:10　13:35-42　14:00-20　14:30-15:50　17:40

コースの概要、特記事項、反省事項等

W.E さんの計画に対し CL の役を受けさせていただいたが、山行日の数日前に発行した参加者名簿に記したバスのピックアップ時間が計画書に対して15分早く、勘違いする人がいないか心配…とのフィードバックを前日の夜にいただき、慌てて情報徹底のメールを配信したが、それでも間違える人が出るのではないかと心配であった。計画書をよく確認せずに、いつもの6:15スタートと思い込んで参加者名簿を作成してしまった自分のミスであり、今後気をつけたいと思う。幸いにも当日の朝、勘違いされた方は一人もおらず、ほぼ定刻に厚木を出立することができた。天気予報通りの雲１つない快晴に恵まれ、「富士山の大展望を楽しみながら冬枯れの尾根を歩く」山行目的を充分に達成できる予感を与えてくれている。道志の道の駅でトイレ休憩後山伏峠登山口(山伏峠トンネルの南側)にほぼ定刻に到着。入念な準備体操を済ませて、いざ出発。ところが登山口の脇にある小屋の周りのいたるところにロープを張って“立入禁止“とか“危険”とかの看板を掲げて、明らかに登山口までの間の通行を拒否する状態となっていた。小屋に紐でつながれた犬が１匹いて威嚇して吠え続けているが、中に人がいるのかもよく分からず、できるだけ物音をたてないようにして静かに通らせていただいた。山道を少し登ると分岐があり、山伏峠トンネル北側からの登山口から合流する登山道があり、次回からの山伏峠を登下山で利用する場合には、トンネル北側の登山口を利用した方がよいように思う。

大棚ノ頭から高指山を経て鉄砲木ノ頭の間は、多少のアップダウンはあるものの基本的になだらかな尾根道で非常に歩きやすい。ただし、途中に1箇所だけ比較的高低差のあるクサリ場があるので、ここだけは慎重に歩を進める必要がある。進行方向に対して右手前に真っ白に雪化粧した富士を見ながら進んでいくが、『富士山＋山中湖＋南アルプス連山』が織りなす景色を思いっきり堪能することができる素晴らしい View Point がこの間に3箇所あった。高指山より500m 程北側に位置するポイントと高指山および鉄砲木の頭(パノラマ台)である。特にパノラマ台はその名が示す通り富士山を眼前に控え、手前に山中湖、背景に南アルプスを抱える絶好ポイントであった。切通峠から1．5km ほどの道のりであるが、見通しのない灌木の中を歩いて行くと昼時となって、あちらこちらからお腹が空いたとの声が上がる。富士の景色をおかずに食事したいとの思いから、「もう少し、あそこまで行ってみよう…」となだめすかしながらパノラマ台まで我慢して歩いていただいたが、その甲斐あっていつも以上に楽しく美味しい食事をとることができた。

パノラマ台から20数分歩いて三国峠に降りてくると、I.M さん運転のマイクロバスが既に待機していた。ここで準備を整えて最後の三国山にピストンで往復することになるが、リュックサックをおろす人 or おろさない人、アイゼンをつける人 or つけない人とそれぞれであった。しかしながら、今回はピストンだからここで待っているという人はおらず、全員で三国山に登ることができた。下山後、石割の湯に立ち寄ってサッパリと汗を流し、計画より約2時間ほど早く厚木に帰着することができた。2月より TTC に入会される H.M さんがお試し山行として参加されたが、皆さまのサポートもあって、和やかに時間を過ごしていただくことができたと思われる。

―― 以上 ――